



平成26年度 教育TRYの更なる徹底に向けて

豊後大野市のアクションプランを公表します！！



【豊後大野市教育委員会】

豊後大野市では、平成25年度より校長のリーダーシップのもと、目標や取組をしっかりと決めて、その達成に向けて、主任の教員を中心に、学校がこれまで以上に、組織的に教育活動を展開・充実させていける体制の充実を図っています。

さて、平成26年度は、昨年度策定しました教育TRY運動の更なる徹底のための3年間のアクションプラン（H25～H27年度）の2年次にあたります。以下の4つの側面から、目標達成に向けて取組をすすめますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

学力向上アクション

☆学力の状況と目標

- ・豊後大野市の子どもたちの学力は向上しつつあるものの、まだ全国平均に達していません。
 - ・平成25年度大分県学力調査では、全国を「50」とした偏差値の目標と結果は以下のとおりでした。
- | | |
|------------------|------------------|
| ＜小学校：目標＞ | ＜中学校：目標＞ |
| 国語【49.3】算数【49.7】 | 国語【49.0】数学【49.0】 |
| ＜小学校：結果＞ | ＜中学校：結果＞ |
| 国語【49.2】算数【49.8】 | 国語【50.1】数学【49.4】 |
- ・平成27年度までに、全教科において偏差値「50」を超えることを目標としています。

☆行動計画とスケジュール

- ・引き続き管理職の下、教育活動の中核となる教員が、年間を通してリーダーシップを発揮できる環境づくりや研修等を充実させます。

☆成果の確認

- ・平成27年度には偏差値「50」を超えることができるよう取組みます。

体力向上アクション

☆体力の状況と目標

- ・豊後大野市の子どもたちは、概ね柔軟性は高いものの、筋力と持久力の向上が求められています。
 - ・全国体力調査における各学年の各種目（8種目）の内、全国平均を到達している割合及び毎日外遊びをする子ども割合の目標と現状は以下のとおりです。
- | | |
|-----------------|--------------|
| ＜体力調査全国平均への到達率＞ | ＜毎日外遊び＞ |
| 目標⇒⇒40.0% | 目標⇒⇒60.0% |
| H25年度⇒⇒24.3% | H25年度⇒⇒70.0% |

☆行動計画とスケジュール

- ・引き続き、体力向上を中心となって担う主任（体育主任）が年間を通してリーダーシップを発揮できる環境づくりや研修等を充実させます。
- ・すぐれた取組を市内へ普及します。

☆成果の確認

- ・平成27年度には、全国体力調査の到達率を60%となるよう取組むとともに、毎日外遊びをする子どもの割合が90%となるよう取組みます。

組織力向上アクション

☆学校運営体制の改善

- ・校長のリーダーシップと各分野の責任者である主任の教員のリーダーシップが一層機能する学校づくりをすすめます。
- ・目標をしばって、わかり易い具体的な重点目標とし、成果や課題を教員や保護者、地域の方々で一層分かち合える取組をすすめます。
- ・学校での取組や子どもたちの成長の様子について、わかり易く情報発信します。

☆行動計画とスケジュール

- ・学校の教育活動で、特に中心的な役割を担っている主任の教員が市内で一体となって活動できる取組を構築します。
- ・全ての学校に校長・教頭・主任の教員で構成される「運営委員会」を一層機能させ、今まで以上に一体的でスピード感のある対応や教育活動を進めます。

☆成果の確認

- ・教育委員会の学校訪問等を通して、新たな学校運営体制の定着を確認します。

小・中連携TRY

☆連携型小・中一貫教育の導入

- ・平成25年度より先進的に取組んだ朝地小・中学校で、連携型小・中一貫教育を本格実施させるとともに、新たに清川小・中学校を拠点地域として研究をすすめます。
- ・拠点小・中学校には、保護者や地域の方々から学校の運営に参画いただく協議会を設置し、地域ぐるみで子どもたちを育てる連携の本部とします。
- ・学校の行事や「ふるさと豊後大野市に関する学習」などの中に小・中学校で一緒にできるものを設定し推進します。

☆行動計画とスケジュール

- ・平成26年度に朝地町で本格実施するとともに、清川町でも連携型小・中一貫教育を試行します。
- ・平成26年度には、拠点地域での先導的な取組を市内へ普及できるよう取組みます。

☆成果の確認

- ・保護者や地域の方々からも評価をいただきながら、取組結果を検証します。